



FORRESTER®

パブリッククラウドかプライベートクラウドで迷っている場合はIaaSなら悩む必要はありません

まずはここから →

概要

2021年、デル、インテル、VMwareは、インフラストラクチャ、データ ストレージ、アプリケーション パフォーマンスに関する今日のITおよびビジネス要件を理解するために、Forrester Consultingにカスタム調査を委託しました。多くの企業はインフラストラクチャとデータをオンプレミスに保持することを希望していますが、ITとビジネスの利益のためにインフラストラクチャ アズ ア サービス(IaaS)を採用して、パブリッククラウド インフラストラクチャとプライベート クラウド インフラストラクチャにまたがるハイブリッド導入戦略をプロアクティブに最適化していることが分かりました。

今日の企業はIT効率の向上、インフラストラクチャの弾力性の向上、より迅速かつ俊敏なイノベーションを実現したいと考えています。また、データ セキュリティとビジネス継続性を向上させるだけでなく、オンプレミスのハイブリッド インフラストラクチャに移行することでコストを削減する必要もあります。

重要な調査結果



テクノロジーは、ビジネス ニーズに迅速に対応できる必要があります。ITリーダーの4分の3近くが、組織はオンプレミス インフラストラクチャでクラウドのようなエクスペリエンスを望んでいると回答しています。



ITリーダーが社内プライベート クラウドを採用する際の主な推進要因はデータ セキュリティです。回答者は、財務、法務、評判に影響を与える可能性のある侵害とビジネス リスクを軽減するためにデータ セキュリティが極めて重要であると答えています。



60%以上が、プライベート クラウドまたはパブリック クラウドあるいはその両方の導入に関する主な課題として、リソースの不足、スタッフの専門技術の不足、IaaSへの移行の複雑さを挙げています。

クラウドのようなエクスペリエンスが求められている

企業は競争力を高めるために、テクノロジーを活用して革新的なソリューションをより迅速に開発したいと考えています。また、お客様とビジネスに影響を与える市場条件の不測の変化に対処する能力も必要です。オンプレミス インフラストラクチャはなくなりませんが、パブリック クラウドの柔軟性、拡張性、運用コスト構造などの側面は非常に魅力的です。

回答者の70%以上が、テクノロジーをビジネス ニーズに合わせて柔軟に調整し、容量をスケールアップまたはスケールダウンできる能力が重要な要件であると答えています。回答者は、組織のオンプレミス インフラストラクチャでクラウドのようなエクスペリエンスが提供されることを望んでいると答えています。その結果、クラウド導入とオンプレミス インフラストラクチャを組み合わせた戦略の策定に強い関心を寄せています。

ビジネスの要求にすばやく対応するテクノロジーが必要



74%

テクノロジーをビジネス ニーズに合わせて調整できることが重要だと回答した割合。



71%

必要に応じて容量を迅速にスケールアップまたはスケールダウンできることが重要だと回答した割合。



71%

組織がオンプレミス インフラストラクチャでクラウドのようなエクスペリエンスを希望していると回答した割合。



59%

データセンターにOpExベースの消費モデルを希望している割合。

インフラストラクチャ戦略を策定する際に最も重要な考慮事項はデータセキュリティ

意思決定者が社内プライベートクラウドを採用する際の主な推進要因はデータセキュリティです。回答者は、さまざまな財務、法務、評判に影響を与える可能性のあるセキュリティ侵害とビジネスリスクを軽減するためにデータセキュリティが極めて重要であると答えています。

特にITリーダーの80%が、特定のワークロードを実行する場所を決定する際にデータセキュリティが重要であると答えています。回答者の65%は、物理システムおよびソフトウェアへの第三者によるアクセスを制限することが組織にとって重要だと述べています。プロアクティブなデータセキュリティと第三者のリスク管理は、セキュリティリスクの軽減に役立つだけでなく、開発やサポートに要する時間を短縮するため、効率が向上して他の分野の仕事により多くの時間を割り当てることができます。

特定のワークロードを実行する場所を決定する際に最も重要なのはデータセキュリティ

「データ侵害は、財務費用や評判の低下などの**マイナスの結果**につながります。」

「データセキュリティフレームワークを同期させることで、侵害に伴う**法的または規制の結果から会社を保護**できます。」

「事前にシステムにセキュリティを組み込むことで**開発やサポートに要する時間が短縮されるため、その時間を他のタスクに割り当てることができます。**」

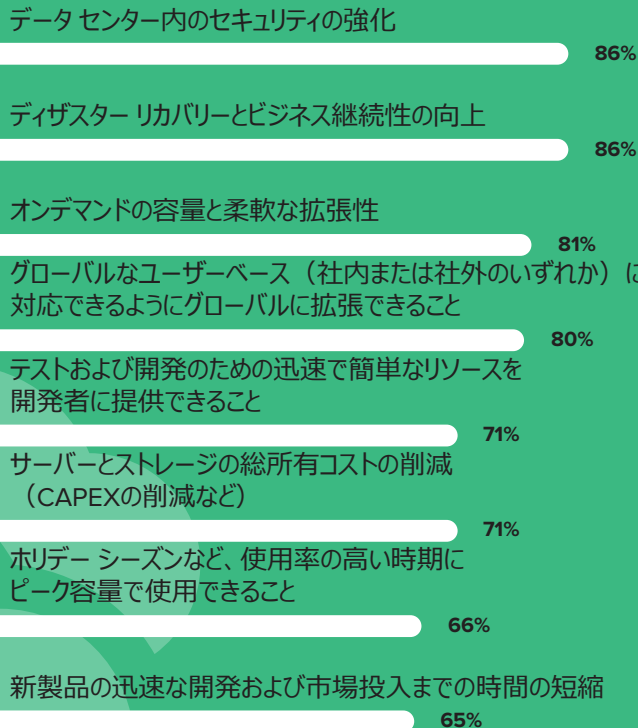
社内プライベートクラウドソリューションによる制御の維持

現代の企業は、サイバー犯罪、ランサムウェア攻撃、自然災害などのビジネスへの脅威に耐えられる堅牢なインフラストラクチャソリューションを必要としています。

回答者の80%以上が、プライベートクラウドに関する主な考慮事項にはセキュリティ、ディザスター リカバリー、ビジネス継続性の向上が含まれると答えました。プライベートクラウドソリューションは、規制や企業ポリシーによってインフラストラクチャとデータの一部をオンプレミスに保持する必要がある企業にとって魅力的です。プライベートクラウド環境では、ワークロードを処理する際またはレイテンシーの影響を受けやすいアプリケーションを実行する際に制御性および速度が向上します。¹

「社内プライベートクラウドを採用するという組織の意思決定において、次の各項目はどの程度重要ですか？」

（「非常に重要」と「重要」の割合を示しています）



拡張性と柔軟性によりIaaSの採用が増加

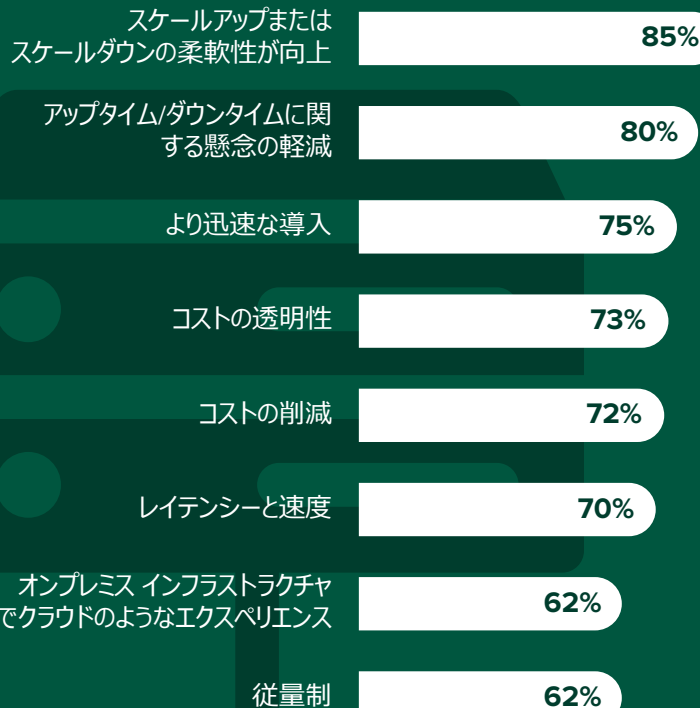
ITリーダーは、オンプレミスのインフラストラクチャ アズ ア サービス(IaaS)を大いに評価しています。意思決定者の54%が組織のIaaSの実装、拡張、またはアップグレードを既に行っており、40%が今後24か月以内の実装を予定しています。IaaSを検討または実装する主な理由について、回答者の75%以上が次のように答えています。

- **優れた柔軟性。**IT部門と企業は、市場の変化に迅速に対応するために容量を利用できる必要があります。
- **より迅速な導入。**DevOpsと俊敏性を中心とした新しい運用モデルでは、新しいアプリケーション コードまたはビジネス機能をすばやく頻繁に導入する必要があります。
- **アップタイム/ダウンタイムに関する懸念の軽減。**企業の信頼性は利用しているテクノロジーによって決まります。インフラストラクチャは、障害や計画的なダウンタイムがあっても稼動し続ける必要があります。

企業はIaaSを採用することで、生産性とビジネス目標を達成する能力を最大限に高めることができます。

「IaaSモデルを検討している組織にとって、次の機能はどの程度重要ですか？」

(「非常に重要」と「重要」の割合を示しています)



ITリーダーはIaaSの使用から両方のメリットを享受できると期待

IaaSを実装することで、企業はプライベートクラウドとパブリッククラウドの両方のメリットを享受できます。このため、ITリーダーはIaaSの実装に大きな期待を寄せています。回答者の40%以上が、パブリッククラウドの柔軟性とコストメリットおよびプライベートクラウドのセキュリティ、俊敏性、拡張性を得ることができると期待しています。しかし、これらのメリットを享受するには、サブスクリプションベースのオンプレミスインフラストラクチャモデルを採用するために、ITおよびビジネスのチームとプロセスを準備する必要があります。

組織がこの種のソリューションの採用について財務面と技術面での対応準備ができていると答えた回答者は約40%にすぎませんでした。パブリックインフラストラクチャとプライベートインフラストラクチャにシームレスにまたがるハイブリッド導入戦略をプロアクティブに最適化しているリーダーは、効率の向上、ビジネス継続性の維持、インベション、コストとリスクの削減を実現できています。

「IaaSモデルを実装した結果として、どのようなメリットを期待しますか？」

- 52% データセンターのセキュリティの強化
- 49% 俊敏性と制御の向上
- 46% ニーズに合わせた拡張性
- 45% CAPEXからOpExにシフトできること
- 42% 熟練したITリソースを解放できること
- 40% IT支出の予算編成能力の向上
- 40% 柔軟な構成
- 39% 管理のしやすさ

まとめ

組織は、ビジネスの要求にすばやく効率的に対応するためのテクノロジーを必要としています。セキュリティは、IT戦略を策定する企業にとって最も重要な推進要因です。組織はIaaSを実装することで、パブリッククラウドとプライベートクラウドのセキュリティ、速度、パフォーマンス、柔軟性といった優れた特性を利用だけでなく、コストの安定というメリットを得ることもできます。

IaaSはパブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせる両方の導入メリットを最大限に活用し、それぞれの欠点を最小限に抑えます。ITリーダーはIaaSソリューションを実装するために適切なスキルを持つリソースを割り当てる必要がありますが、サービスとして実行されるITインフラストラクチャによるメリットを得ることができます。さらに、企業は新しい重要なプロジェクトにIT人材を集中させることで、より広範なビジネス目標を達成する能力を最大限に高めることができます。

プロジェクトディレクター：

Sandy Liang、
マーケットインパクトコンサルタント

調査協力：

Forresterインフラストラクチャ&オペレーションズ(I&O)リサーチグループ

調査方法

このOpportunity Snapshotは、デル、インテル、VMwareの委託により作成されました。Forrester Consultingはこの概要を作成するために、米国、英国、ドイツ、フランス、カナダでインフラストラクチャ戦略と意思決定を担当するグローバルな意思決定者260人を対象にカスタム アンケートを実施しました。カスタム アンケートは2021年3月に行われました。

巻末注

¹出典：『The New Economics of On-Premises Infrastructure』、Forrester Research, Inc.、2021年1月22日。

FORRESTER CONSULTINGについて

Forrester Consultingは、独立性を有する客観的な調査に基づきコンサルティング サービスを提供することで、組織でのビジネス リーダーの成功を支援しています。Forresterのコンサルティング サービスは、簡単な戦略セッションからカスタム プロジェクトまで広範囲に渡ります。リサーチ アナリストが直接担当し、専門家ならではの洞察力を生かし、お客様固有のビジネスの課題に取り組みます。詳細については、forrester.com/consultingをご覧ください。

© Forrester Research, Inc. All rights reserved. (不許複製・禁無断転載) 許可なく複製することは固く禁じられています。情報は特定の時点で入手できた最善のリソースに基づいています。意見はその時点での判断を反映しており、変更される可能性があります。Forrester®、Technographics®、Forrester Wave、RoleView、TechRadar、およびTotal Economic Impactは、Forrester Research, Inc.の商標です。その他の商標は、それぞれの会社に帰属します。詳細については、forrester.comを参照してください。[E-51181]

FORRESTER OPPORTUNITY SNAPSHOT : デル、インテル、VMWAREの委託によるカスタム調査 | 2021年10月

回答者情報

国	
米国	31%
英国	20%
ドイツ	20%
フランス	20%
カナダ	9%

社員数	
社員数500～999人	25%
社員数1,000～4,999人	48%
社員数5,000～19,999人	19%
社員数20,000人超	8%

上位5業種	
テクノロジーおよびテクノロジー サービス	12%
製造および素材	10%
小売	9%
輸送業と物流業	8%
旅行業およびサービス業	7%

役職	
経営幹部レベル	12%
副社長	21%
ディレクター	39%
シニア コンサルタント/ストラテジスト	28%

A low-angle, upward-looking photograph of several modern skyscrapers against a dark, overcast sky at dusk or dawn. The buildings are dark with some windows glowing with light. The Forrester logo is centered in the middle of the image.

FORRESTER®